

和歌山県 資料提供

令和7年7月18日

和歌山県立文書館ケース展示

「授業で使える和歌山の資料」 戦時下の社会—出征を祝う人々—『榎家文書』から」

今回のケース展示では、第二次世界大戦終結80年を迎えることから、日中戦争の時期に使われた出征幟（のぼり）を展示します。

また、和歌山県立文書館のデジタルアーカイブ「和歌山県歴史資料アーカイブ」内の「授業で使える和歌山の資料」ページに展示と関連した出征に関する資料と解説シートを公開します。

公開資料は、一般の方の学習用などとしても幅広く御活用いただけます。

1 ケース展示の概要

展示期間：令和7年7月25日（金）から令和7年9月10日（水）まで

展示場所：和歌山県立文書館

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-38 きのくに志学館2階

開館時間：午前10時から午後6時（土日祝日は午後5時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、館内整理日（毎月第2木曜日）

公開資料：「出征幟」『榎家文書』（海南市孟子：当館所蔵）

…日中戦争に行く兵士を見送る際に掲げられたのぼり

2 「授業で使える和歌山の資料」の公開資料

タイトル：戦時下の社会 —出征を祝う人々—

公開日：令和7年7月25日（金）

内容：1937（昭和12）年に始まった日中戦争へと出征する兵士を見送る際に使われた資料

「授業で使える和歌山の資料」
（和歌山県歴史資料アーカイブ内）

<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/kyouiku/index.html>



（連絡先）

和歌山県立文書館

担当：寺前

電話：073-436-9540

メール：e0221011@pref.wakayama.lg.jp



「出征幟」 （榎家文書）

出征幟とは、戦地に行く兵士を見送る際に掲げられた細長い布の旗のことです。

展示する出征幟は、文書館が所蔵する榎家文書（海南市孟子）に含まれており、榎學さんの出征を祝って、勤務先の鐘紡東京工場から贈られたものです。



「出征のときのようす」 （個人蔵）

榎學さんが出征する際に、今回展示する出征幟が実際に掲げられたようすがわかる写真です。右側の人物が榎學さんです。